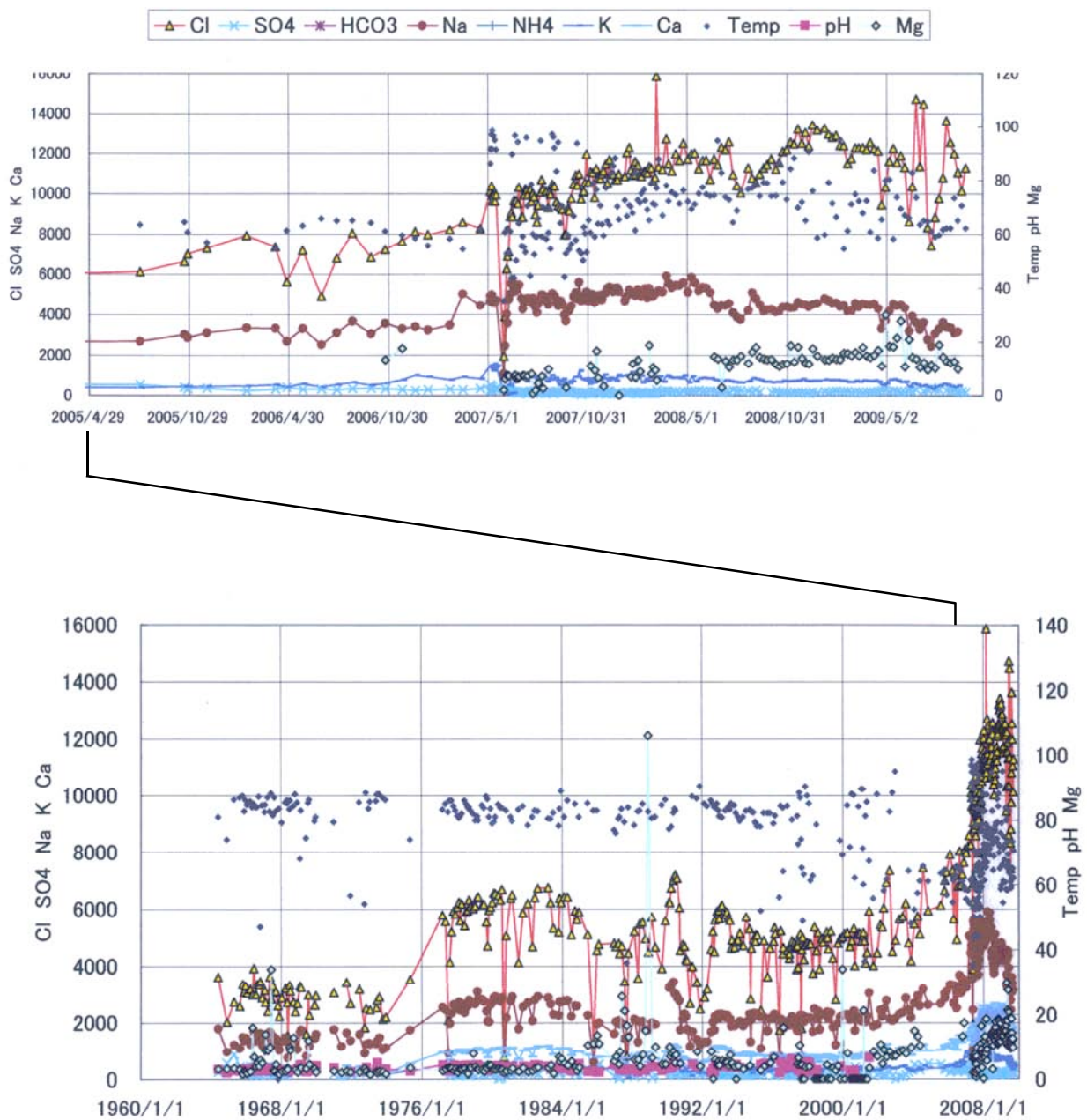


倶多楽火山

○大正地獄の熱水化学成分の変化

2008年5月頃からは12000mg/l前後で現在まで推移していたCl濃度は、噴騰活動が始まる直前の6月25日、7月9日に14000mg/lと高いCl濃度を示した。この後、活動開始とともに、一旦、急減したあと、増加に転じ8月20日を境に再び減少し始め、現在は活動以前の状態に復したように見える。今回の活動に先立つ6月25日、7月9日のCl濃度の増加は、今回の活動の前兆とみることもでき、注目される。



(我孫子・大島・前川)

倶多楽火山